

| A 重点戦略（基本構想） | B 各種調査からの課題、評価 | C 環境変化・動向 | D ねらい（小出し） | E 施策 | F 取組項目 | G 後期重点プロジェクト名 |
|---|--|--|---|--|--|--|
| <p>1 地域力の高いまちをつくる 市民ニーズの多様化により、行政だけで全ての問題を解決していくことは難しい状況にあります。そこで、地域住民自らが地域課題の解決に向けた取組や、自治組織、市民団体（NPO法人等）の活動を支援することで「地域力の高いまち」を目指します。</p> | <p>①住み続けたい理由の第2位が「親しい人間関係がある」となっている ②重点戦略に「地域力の高いまちをつくる」、前期重点プロジェクト「“オールふじみ野”まちづくりプロジェクト」を掲げているが、市民意識調査結果において「地域コミュニティ」の重要度は最も低くなっており、満足度は高くない ③市民と行政が一緒になってまちづくりを進めていくために必要なのは「市の情報公開・提供」「相談窓口」が4割強</p> | <p>①個人のライフスタイルや価値観の多様化 ②地域社会の担い手不足 ③少子高齢化や単独世帯の増加 ④地域での人々のつながりが希薄化 ⑤地域共生社会</p> | <p>①親しい人間関係を築くことで、住み続けたいまちに繋がる ②1人では解決できない課題も、市民や市民団体、NPO、事業者等が相互に連携することで課題解決の可能性は高まる ③地域に身近な課題は、地域の市民がともに考え主体的・日常的に解決していく知恵と力を出し合う協働のまちを目指す ④誰もが住み慣れた地域で希望する生活を送れること</p> | <p>1 協働 8 地域福祉 37 社会教育</p> | <p>(1) 協働のまちづくりの推進 (2) 地縁活動の支援 (3) 市民活動の支援 (1) 地域支援体制の充実 (3) 地域学校協働活動の充実</p> | <p>重点プロジェクト1 【前期】 “オールふじみ野”まちづくり プロジェクト ↓ 【後期】 同じ</p> |
| <p>2 生涯にわたり健やかで元気のあるまちをつくる 市民一人ひとりの健康こそが、元気のあるまちの根元です。生涯にわたり文化・スポーツや生きがいのための学習、介護予防などの健康づくりを促進することで、社会保障費の軽減につながり、そこで生み出された財源により、次の新たな健康づくりの施策展開が可能となります。その「元気・健康の好循環」の下、子どもからお年寄りまで「生涯にわたり健やかで元気のあるまち」を目指します。</p> | <p>①市の魅力向上や生活課題の解決に向けた活動に「内容により参加したい」人が半数 ②参加したい活動は、「文化芸術事業、スポーツ、生きがい学習（生涯学習）活動」が4割強 ③満足度が高い「健康づくり」 ④生きがい学習活動への高い参加意向 ⑤今後の高齢化を見越した介護予防・医療体制の整備が求められている</p> | <p>①高齢者人口と高齢化率の増加 ②健康寿命の延伸（国プラン） ③人生100年時代（国 人づくり革命基本構想） ④後期高齢者の増加による要介護高齢者の増加</p> | <p>①市民の参加したい活動である「文化芸術」や「スポーツ」、「生きがい学習（生涯学習）」の機会を提供する ②健康づくりに関わる機会や場を提供する ③介護予防などの健康づくりを促進することで社会保障費の軽減につなげる</p> | <p>5 生きがい 6 文化 7 スポーツ 14 保健・医療 15 医療保険 16 介護保険（生活支援）</p> | <p>(1) 生きがい学習の充実 (3) 文化芸術に出会う機会の提供と交流促進 (2) 生涯にわたり誰もがスポーツに親しめる機会の充実 (2) 保健対策の推進 (3) 健康づくりの推進 (1) 国民健康保険・後期高齢者医療制度の健全運営 (2) 地域との連携による保健・医療体制の推進 (1) 生活支援・介護予防サービスの充実</p> | <p>重点プロジェクト2 【前期】 元気・健康づくりプロジェクト ↓ 【後期】 いきいき“元気・健康”プロジェクト</p> |
| <p>3 子育てや教育の充実したまちをつくる ふじみ野市人口ビジョンで示した市民の希望出生率「1.8」をかなえるべく、市民が「このふじみ野市なら多くの子どもを安心して産み育てられる」と思うことができる「子育てや教育の充実したまち」を目指します。</p> | <p>①特に若い世代において住みやすさの評価は高い ②「子育て支援」「学校教育」の満足度は前回に比べ増加 ③重要度は「子育て支援」が最も高く、次いで「学校教育」となっている ④子育て世帯への一層の支援が求められている ⑤「学校の校舎、教室、トイレ」、「学校のプール」に対する不満の割合が高い</p> | <p>①出生数の減少や少子化への対応 ②若い世代が安心して働き、子どもを産み育てやすい環境の必要性 ③「ふじみ野市こどもの未来を育む条例」の制定 ④社会の変化と教育の果たす役割の変化 ⑤こども家庭庁の設置（R5予定）</p> | <p>①子育て中の保護者に対する仕事と家庭の両立支援 ②子どもを産み育てやすく、住み続けたいと思えるまちづくりの創出 ③社会変化に対応した学校の教育力の一層の向上と環境整備</p> | <p>11 子育て支援 12 保育 35 教育環境 36 学校教育</p> | <p>(1) 子どもや子育て家庭への支援の充実 (2) 地域で支え合う子育て支援体制の構築 (3) 発育・発達支援体制の拡充 (1) 保育基盤の確保・充実 (1) 地域との連携による教育力の向上 (1) 教育力の向上 (3) 施設環境の整備・充実</p> | <p>重点プロジェクト3 【前期】 子育てするならふじみ野市 プロジェクト 次代を担う子どもを育む プロジェクト ↓ 【後期】 子育てするならふじみ野市・こどもの未来を育むプロジェクト</p> |

| A 重点戦略（基本構想） | B 各種調査からの課題、評価 | C 環境変化・動向 | D ねらい（小出し） | E 施策 | F 取組項目 | G 後期重点プロジェクト名 |
|--|---|---|--|--|--|---|
| <p style="text-align: center;">4 にぎわいや美しさの中にも強さのあるまちをつくる</p> <p>人が集い、にぎわいが創出され、地域が活気に満ちたまちづくりを行うとともに、自然を残しつつ都市景観の美しさに配慮した都市整備を行います。また、近年の地震や大型台風、集中豪雨、竜巻などの自然災害が頻発している状況を踏まえ、災害対策により「にぎわいや美しさの中にも強さのあるまち」を目指します。</p> | <p>①重要度が高く、満足度が低い「産業・雇用」、「生活基盤」、「都市環境」</p> <p>②小中学生が「参加したことある祭り・イベント」、「一番好きな祭り、イベント」の1位がともに、「上福岡七夕まつり」、2位が「おおい祭り」</p> <p>③「住み続けたい理由」の1位が「買い物しやすいくて便利」</p> <p>④大型小売店の人口千人あたりの面積が県南西部の中でも大きい</p> <p>⑤満足度の1位が「環境」</p> <p>⑥満足度も重要度も高い「防災」</p> | <p>①飲食サービス業等の事業所数の減少</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の影響等による消費をめぐる環境変化</p> <p>③将来的な生産年齢人口の減少</p> <p>④SDGsの広がり</p> <p>⑤2050年カーボンニュートラルの実現に向けた省エネ・再エネ導入促進と「ふじみ野市ゼロカーボンシティ宣言」の表明</p> <p>⑥頻発する自然災害、豪雨被害への対応や首都直下地震への備え</p> <p>⑦インフラの老朽化を見越した計画的な更新・長寿命化</p> | <p>①商店街等のにぎわいによる持続可能なまちづくり（市内経済の好循環）</p> <p>②新生活様式の浸透後のにぎわいと楽しさあふれるまちづくり</p> <p>③2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするための取組の推進</p> <p>④豊かな自然環境の保全の推進</p> <p>⑤快適で市民が暮らしやすい住環境が整ったまちを創出し、環境にやさしく、住み心地の良いまちづくりの推進</p> <p>⑥ハード・ソフト両面から災害に強いまちづくりの推進</p> | <p>31 水道</p> <p>32 下水道</p> <p>33 防災</p> <p>18 地域、自然環境</p> <p>21 農業</p> <p>22 商工業</p> <p>23 観光</p> <p>24 道路</p> <p>28 都市計画</p> <p>30 住宅</p> | <p>(1) 水道水の安定供給</p> <p>(1) 雨水対策の推進及び排水施設の維持管理</p> <p>(1) 防災対策の充実</p> <p>(1) 脱炭素社会の推進</p> <p>(2) 地産地消の推進</p> <p>(1) 商工業の活性化 (2) 新たな産業の育成</p> <p>(1) 地域資源の活用による地域の活性化</p> <p>(1) 道路交通体系の充実</p> <p>(1) 計画的なまちづくりの推進 (3) 美しい景観の保全</p> <p>(2) 空き家等の適切な維持管理の促進</p> | <p style="text-align: center;">重点プロジェクト4 【前期】 強靱なまちづくりプロジェクト ↓ 【後期】 同じ</p> <p style="text-align: center;">重点プロジェクト5 【前期】 美しくにぎわいのあるまちづくりプロジェクト ↓ 【後期】 美しく活気ある暮らしやすいまちプロジェクト</p> |
| <p style="text-align: center;">その他の課題等</p> | <p>①市民と行政が一緒になってまちづくりを進めていくために必要なことについて、「市の情報の公開、提供」が4割強と最も高い</p> <p>②市政や地域の情報について、様々な媒体による提供が求められている</p> <p>③行政サービスのデジタル化の満足度は3割。また、世代による情報格差への配慮が求められている</p> <p>④「電子申請やオンラインサービスの利用方法がわかりにくい」「電子申請で利用可能な行政手続きが限られている」が4割強</p> | <p>①新型コロナウイルス感染症のような緊急を要し、多くの人々が求める情報については、迅速かつ的確に発信する必要がある</p> <p>②国においてデジタル庁が設置され、行政手続のオンライン化や、行政分野システムの標準化等が進められている</p> <p>③「ふじみ野市デジタルトランスフォーメーション（DX）推進方針」の策定</p> | <p>①様々な媒体による情報発信で、幅広い年齢層への情報提供を推進</p> <p>②市政に関する情報を広く周知することにより、市民が利用できるサービスの利用者拡大、利用率向上</p> <p>③行政手続きのオンライン化による市民の利便性の向上</p> | <p>取組1 (1) 情報発信・収集</p> <p>取組2 (1) 経営戦略</p> | <p>(1) 迅速かつ的確な情報発信の推進</p> <p>(3) 自治体DXの推進</p> | <p style="text-align: center;">重点プロジェクト6 【新規】 市のこと知って使ってプロジェクト</p> |